



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東大

上場会社名 日本管財株式会社

コード番号 9728 URL <http://www.nkanzai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 原田 康弘

TEL 03-5290-5812

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	55,588	2.0	2,838	△4.0	3,010	△4.9	1,731	6.1
24年3月期第3四半期	54,484	△1.1	2,955	4.3	3,164	7.5	1,632	17.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,852百万円 (14.0%) 24年3月期第3四半期 1,625百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	102.63	—
24年3月期第3四半期	96.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	38,512	27,169	66.4
24年3月期	39,804	26,356	62.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 25,566百万円 24年3月期 24,768百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,800	3.5	4,200	6.5	4,400	3.6	2,400	10.5	141.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	20,590,153 株	24年3月期	20,590,153 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,799,513 株	24年3月期	3,584,059 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	16,874,156 株	24年3月期3Q	16,932,876 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかに回復しつつあるものの、欧州や中国における不安定な経済情勢や円高の状態が続いておりました。しかし12月の政権交代を契機に株式市況の持ち直しや円安の動きを見せるなど、不透明ながらも景気の回復への期待感が高まっております。

不動産関連サービス業界におきましては、契約先のコスト削減意識の高まりや業務対象物件の閉鎖・縮小、オフィスや商業ビルの空室率の改善も進まず、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、引き続きビルメンテナンスの周辺業務の拡大を図るとともに、プロパティマネジメント事業、PFI事業、省エネルギー事業等への取り組みやグループ企業の強化など積極的な事業展開を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新規案件や工事関連業務の順調な受託により、555億88百万円(前年同四半期比2.0%増)と増収となりました。

収益面におきましては、仕入単価の見直しや時間管理の徹底を図ってまいりましたが、人件費や外注委託費等の主要コストの上昇に加え、収益性の高い業務の減少や組織体制強化等による管理コストの増加により、営業利益28億38百万円(前年同四半期比4.0%減)、経常利益30億10百万円(前年同四半期比4.9%減)とそれぞれ減益となりましたが、四半期純利益につきましては、法人税率の引き下げにより17億31百万円(前年同四半期比6.1%増)と増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、新規案件や工事関連業務の受託が順調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は482億6百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

収益面におきましては、受託単価の伸び悩みに加え、人件費や外注委託費等の主要コストが上昇いたしましたが、管理コストの削減に取り組んだ結果、セグメント利益は47億39百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。

## (環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、ゴミ焼却施設やリサイクル施設管理を中心に新規案件の受託も概ね順調であったことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は58億21百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

収益面におきましても、主要取引先である地方自治体の財政は依然として緊縮傾向にあるものの、新規立ち上げ費用の抑制や仕入価格の見直し、適正な人員配置を中心にコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は5億47百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

## (不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、資産運用のアセットマネジメント収入は安定して計上できましたが、資産の取得や売却に伴う収益が減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は3億72百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

収益面におきましても、売上減少の影響により、セグメント利益は95百万円(前年同四半期比17.0%減)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、収益性の高いイベント業務や不動産仲介の受注が減少したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は11億88百万円(前年同四半期比10.9%減)、セグメント損失は56百万円(前年同四半期比59百万円減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億91百万円(3.2%減)減少して385億12百万円となりました。

減少の主な要因は、買掛金等の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債は、支払手形及び買掛金や未払法人税等の支払い、賞与支給による賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末に比べ21億4百万円(15.6%減)減少し113億43百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いや自己株式の取得による減少の一方、四半期純利益の計上により8億12百万円(3.1%増)増加し271億69百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.2ポイント増加し66.4%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く環境は、厳しい状況で推移することが予想されますが、引き続き業容の拡大と収益性の改善に努めてまいり所存であります。

業績予想に関しましては、平成24年5月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,233千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,497,900	12,693,737
受取手形及び売掛金	8,898,708	8,746,955
事業目的匿名組合出資金	193,550	308,036
貯蔵品	68,617	80,416
販売用不動産	1,975,059	1,911,245
未収還付法人税等	9,524	38,545
繰延税金資産	373,191	85,873
その他	1,011,921	1,192,304
貸倒引当金	△12,679	△11,524
流動資産合計	26,015,791	25,045,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,945,206	1,881,914
機械装置及び運搬具(純額)	16,288	48,180
工具、器具及び備品(純額)	248,627	261,201
土地	1,693,312	1,086,763
リース資産(純額)	595,789	550,220
建設仮勘定	—	140,533
有形固定資産合計	4,499,222	3,968,811
無形固定資産		
電話加入権	34,935	34,790
ソフトウェア	405,374	363,351
のれん	38,744	22,054
リース資産	17,585	29,409
無形固定資産合計	496,638	449,604
投資その他の資産		
投資有価証券	5,498,630	5,079,342
長期貸付金	502,534	530,904
長期前払費用	7,481	16,313
敷金及び保証金	1,471,314	1,547,337
会員権	380,259	403,123
繰延税金資産	635,816	698,902
その他	937,191	1,409,416
貸倒引当金	△640,404	△636,355
投資その他の資産合計	8,792,821	9,048,982
固定資産合計	13,788,681	13,467,397
資産合計	39,804,472	38,512,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,982,556	4,357,913
1年内返済予定の長期借入金	166,000	167,904
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	19,600	21,300
リース債務	165,697	187,883
未払費用	1,992,654	2,160,096
未払法人税等	1,070,229	99,056
未払消費税等	301,725	314,716
預り金	429,762	558,003
前受金	46,729	74,795
賞与引当金	596,883	79,178
役員賞与引当金	78,479	54,100
その他	62,916	98,858
流動負債合計	9,913,230	8,173,802
固定負債		
長期借入金	167,904	—
長期ノンリコースローン	1,235,200	1,173,600
リース債務	453,255	403,610
繰延税金負債	18,055	22,183
退職給付引当金	200,202	284,643
役員退職慰労引当金	432,572	475,212
長期預り保証金	762,104	536,747
資産除去債務	206,260	222,444
持分法適用に伴う負債	21,535	29,491
その他	37,645	21,861
固定負債合計	3,534,732	3,169,791
負債合計	13,447,962	11,343,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	498,800	498,800
利益剰余金	26,238,534	27,297,603
自己株式	△5,226,262	△5,543,086
株主資本合計	24,511,072	25,253,317
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	257,239	312,755
その他の包括利益累計額合計	257,239	312,755
少数株主持分	1,588,199	1,603,319
純資産合計	26,356,510	27,169,391
負債純資産合計	39,804,472	38,512,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	54,484,698	55,588,074
売上原価	44,036,850	45,107,848
売上総利益	10,447,848	10,480,226
販売費及び一般管理費		
販売費	105,727	126,308
人件費	4,455,766	4,447,349
賞与引当金繰入額	27,103	24,883
役員賞与引当金繰入額	56,182	54,100
役員退職慰労引当金繰入額	22,433	53,490
退職給付費用	95,512	133,552
旅費交通費及び通信費	613,532	637,190
消耗品費	266,368	245,573
賃借料	584,051	571,912
保険料	137,960	147,025
減価償却費	292,990	323,020
租税公課	68,829	68,886
事業税	57,711	60,281
貸倒引当金繰入額	△2,087	△2,283
のれん償却額	79,818	16,690
その他	630,340	733,716
販売費及び一般管理費合計	7,492,235	7,641,692
営業利益	2,955,613	2,838,534
営業外収益		
受取利息及び配当金	125,113	128,371
投資有価証券売却益	3,420	—
受取賃貸料	28,965	30,345
持分法による投資利益	50,192	37,355
その他	81,952	81,951
営業外収益合計	289,642	278,022
営業外費用		
支払利息	29,975	22,838
賃貸費用	33,960	33,746
固定資産除売却損	2,140	26,323
その他	14,480	23,405
営業外費用合計	80,555	106,312
経常利益	3,164,700	3,010,244



(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
特別損失		
投資有価証券評価損	60,062	44,253
会員権評価損	16,360	7,010
貸倒引当金繰入額	—	850
労務補償金	18,880	—
特別損失合計	95,302	52,113
税金等調整前四半期純利益	3,069,398	2,958,131
法人税、住民税及び事業税	1,004,104	961,585
法人税等調整額	353,221	199,831
法人税等合計	1,357,325	1,161,416
少数株主損益調整前四半期純利益	1,712,073	1,796,715
少数株主利益	79,538	64,847
四半期純利益	1,632,535	1,731,868

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,712,073	1,796,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86,821	55,788
その他の包括利益合計	△86,821	55,788
四半期包括利益	1,625,252	1,852,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,544,740	1,787,383
少数株主に係る四半期包括利益	80,512	65,120

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	47,495,469	5,257,467	398,547	1,333,215	54,484,698	—	54,484,698
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	47,495,469	5,257,467	398,547	1,333,215	54,484,698	—	54,484,698
セグメント利益	4,719,992	481,273	115,007	3,108	5,319,380	△2,363,767	2,955,613

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,363,767千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (千円)	環境施設 管理事業 (千円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	48,206,219	5,821,188	372,309	1,188,358	55,588,074	—	55,588,074
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	48,206,219	5,821,188	372,309	1,188,358	55,588,374	—	55,588,074
セグメント利益 又は損失(△)	4,739,216	547,707	95,506	△56,323	5,326,106	△2,487,572	2,838,534

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,487,572千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。